

市道0216号無電柱化に関する工事説明会
議事録

日 時：令和7年10月25日（土）
午前10時30分～11時30分
場 所：市川駅南公民館 3階
視聴覚室・第2研修室
出席者：18名

1. あいさつ（道路建設課長）
省略

2. 工事説明

（1）無電柱化事業概要

無電柱化とは、防災面として、電柱の倒壊による交通機能・災害対応の障害及び停電・通信障害の防止、交通安全面として、誰もが安全で移動しやすい歩行空間の確保、景観面として、良好な景観の形成を目的として、地中に埋設した管路に電力線、通信線（電線類）を収容し、地上の電柱、電線類を撤去することである。

整備手法として、もっとも一般的な方式である電線共同溝方式を採用する。この方式では、電線類を通す「管路部」と、それらの分岐、接続、メンテナンスを行う箱形のマンホールである「特殊部」を地中に埋設する。地上には「地上機器」を設置し、変圧器を収容する。

（2）市道0216号の工事概要

1）これまでの経緯

令和4年8月に「市川市無電柱化推進計画」を策定し、市道0216号を優先整備路線に選定している。その後、無電柱化のための予備設計に着手した。

令和5年9月10日に事業説明会を開催後、詳細設計に着手し、電力・通信会社（電線管理者）、ガス会社、水道管理者などの関係機関との調整を経て、令和8年度より工事に入る予定となった。

2）工事区間

道路延長 L=約600m

整備延長 L=約1200m

3）主な工事

①支障物移設工事（ガス、水道）

電線共同溝の特殊部の設置に先立ち、支障となるガス管、水道管を移設する工事で、各施設管理者（ガス会社、水道管理者）が実施する。

②電線共同溝工事、引込管・連系管・入線工事

電線共同溝工事は、管路部、特殊部を地中に埋設する工事で、市川市が実施する。

引込管・連系管・入線工事は、電線共同溝工事の完了後、電線類を民地へ引き込むための引込管、無電柱化整備区域外の地上の電線類を電線共同溝へ引き込むための連系管を地中に埋設する工事、電線共同溝、引込管、連系管へ電線類を入れる工事、電柱上部に設置されていた変圧器を地上機器に収容する工事で、完了後、地上の電柱、電線類を撤去する。電線管理者が実施する。

これにより、34本の電柱が撤去される。

③道路工事（歩道の段差解消、道路排水施設整備）

歩道の段差解消は、急激な高低差のある歩道を緩やかなスロープに改良し、車道側に10m間隔で設置されている排水孔を介し歩車道境界側のU型側溝に雨水排水を流す現在の形態から、全体的に雨水排水を呑むことのできるスリット側溝を車道側に設置する工事で、電線共同溝工事に合わせて市川市が実施する。

歩道は、急激な段差が解消され、側溝蓋がなくなりアスファルト舗装で全体が覆われることから、広く感じられ歩きやすくなる。また、車道の雨水排水を呑む箇所が増え、かつ、集めた雨水排水は現在建設中の市川南ポンプ場へつながる管（市川南1号幹線）に放流することから、排水能力が向上する。

道路の幅員は現在と変わらず、車道約6m、歩道約1.5mの全体約9mである。歩道の形態は、原則として現在と同様、車道より一段高いのマウントアップ形式とするが、場所により歩道が縁石よりも低くなる箇所が出る可能性がある。

＜同時期に実施する無電柱化以外の工事＞

周辺の浸水対策として、県道方面から雨水管渠を埋設し、市川南1号幹線へ接続する雨水管渠工事を、市川市下水道部が実施する。

（3）全体工程

JR市川駅南口から県道に向かい、交差点単位に1工区から4工区に分割し説明する。

令和8年度より支障物移設工事に着手する。まず1・2工区、その後3・4工区を施工する。令和10年度まで3年かかる予定である。

令和9年度より電線共同溝工事・道路工事に着手する。支障物移設の完了した2工区から施工し、続いて3工区、最後に1・4工区を施工する。市川南1号幹線が2工区と3工区の間を通っており、そこへ道路排水を放流する都合から、市川南1号幹線の近い工区から遠くに向かって工事を進めていく。令和11年までの3年間かかる予定である。

電線共同溝工事の完了後、電線管理者による引込管・連系管・入線工事を行い、それらの終了後、地上の電柱、電線類を撤去する。

最後に、歩道の舗装工事を行い、本事業の完成となる。このように計画を進め、令和14年度の完成を予定しているが、調査では存在しなかった不明な管路が発見され、その使用状況を確認するために工事が中断したり、道路が狭くバスも往来する厳しい現場条件の中、安全確保に要する作業が想定以上に増えるなど、不測の事態があった場合は工程が遅れる可能性がある。

3. 質疑応答

ご質問	市の回答
市道0216号に面し、交差点の角に家がある。脇の道路にある電柱から引き込んでいるが、無電柱化されるとどのようなになるのか。また、数年前に東京電力パワーグリッドから、その電柱の老朽化に伴い移設したいとの連絡があったが、その後話が途絶えている。	後ほど、図面を確認しながら個別にお答えする。
工事中の歩道の規制状況を知りたい。	両側の歩道を同時に工事はせず、片側の通行は確保するように考えている。
工事期間中の規制についてどう考えているのか。バスの通行や、宅配等での路上駐車の状態もあるため教えてほしい。	片側交互通行の予定だが、道路幅員が狭く、バスの通行に支障が出る可能性がある。バス会社との協議や埋設物の状況等により、一部夜間工事となる場合もあり、その際は改めて周知を行うものの、あくまで昼間施工が原則である。
歩道舗装は、アスファルト、インターロッキングブロックのいずれになるのか。	アスファルト舗装で考えている。
以前と比べ街灯が減っているが、将来どうなるのか。	商店会灯が撤去されたものと思われる。本事業で、道路照明灯を35m～40mの間隔で設置する予定である。
交通規制は、令和8～14年度の間、ずっとどこかで行われるのか。	市の工事は令和9～11年度に行うが、その期間中はいずれかの場所で工事を行っており、通行の際、ご協力いただくこととなる。令和12～14年度の電線管理者による引込管・連系管・入線工事の際も、歩道を横断して工事を行うため、迂回等の交通規制が発生する。
令和12～14年度の工事の方が規制は緩いということか。	令和9～11年度の工事に比べ規模が小さいため、規制も緩くなるとと思われる。
車道と歩道との段差はどうなるのか。	車道との段差は変わらないが、歩道は勾配を緩やかにして、歩きやすくする。
電柱は無くなるが、街灯や標識は残るので、歩きやすさは変わらないのでは。	街灯や標識など、必要なものは設置するが、全体として柱の本数は減るので、歩きやすくなると考えている。

<p>排水の容量が増えて、道路に水が溜まらな いと考えてよいのか。市川ガーデニアと市 川南自治会館の間の信号の所が、雨が降る と歩けなくなるほど水が溢れる。ここ何年 も何回かあった。市川南ポンプ場ができれ ば水が溢れなくなると聞いており、完成を 待っているが、工事が遅延している。しか し、今回、排水施設が整備されれば、水は 溢れなくなると考えてよいのか。</p>	<p>排水施設を整備しても、市川南ポンプ場が稼 働しないと水溜まりはなくなるので、完 成する令和9年3月以降に側溝を整備する工 程としている。この工程で排水施設を整備す れば、今までのように歩けなくなるほどの水 は溢れなくなると考えている。</p>
--	--